

	項目	詳細																																										
1	輸送の安全に関する基本的な方針	1.「安全第一・営業第二」:ヤマトグループの不变の理念を継承し、常に人命尊重を最優先します。 2.地域共生と防災:沖縄の豊かな生活を守るため、自然災害への備えと迅速な復興支援、そして社員の安心確保を両立します。 3.安全文化の構築:コミュニケーションを強化し、社員全員が意見を出し合える風通しの良い安全文化を確立します。																																										
2	輸送の安全に関する目標及びその達成状況	重大交通・労災事故状況 <table><tr><th>項目</th><th>2025年度実績</th><th>2026年度数値目標</th></tr><tr><td>重大交通事故件数</td><td>0件</td><td>0件</td></tr><tr><td>重大労働災害件数</td><td>0件</td><td>0件</td></tr></table>	項目	2025年度実績	2026年度数値目標	重大交通事故件数	0件	0件	重大労働災害件数	0件	0件																																	
項目	2025年度実績	2026年度数値目標																																										
重大交通事故件数	0件	0件																																										
重大労働災害件数	0件	0件																																										
3	自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計	2025年度自動車事故報告書提出実績 <table><tr><th>提出件数</th><th colspan="3">事故類型別</th><th></th></tr><tr><th rowspan="9">0件</th><th>状態別</th><th>件数</th><th>事故種類別</th><th>件数</th></tr><tr><td>対自動車</td><td>0</td><td>転覆・転落</td><td>0</td></tr><tr><td>対二輪車</td><td>0</td><td>路外逸脱</td><td>0</td></tr><tr><td>対自転車</td><td>0</td><td>火災</td><td>0</td></tr><tr><td>対歩行者</td><td>0</td><td>衝突</td><td>0</td></tr><tr><td>単独</td><td>0</td><td>死傷</td><td>0</td></tr><tr><td>その他</td><td>0</td><td>健康起因</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td></td><td>車両故障</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td></td><td>その他</td><td>0</td></tr></table>	提出件数	事故類型別				0件	状態別	件数	事故種類別	件数	対自動車	0	転覆・転落	0	対二輪車	0	路外逸脱	0	対自転車	0	火災	0	対歩行者	0	衝突	0	単独	0	死傷	0	その他	0	健康起因	0			車両故障	0			その他	0
提出件数	事故類型別																																											
0件	状態別	件数	事故種類別	件数																																								
	対自動車	0	転覆・転落	0																																								
	対二輪車	0	路外逸脱	0																																								
	対自転車	0	火災	0																																								
	対歩行者	0	衝突	0																																								
	単独	0	死傷	0																																								
	その他	0	健康起因	0																																								
			車両故障	0																																								
			その他	0																																								
4	輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統	安全管理規程の安全管理組織図にて指揮命令を行っています。																																										
5	輸送の安全に関する重点施策・取組み事項・重点施策実施状況	I. 2025年度重点施策実績 (1) 運行管理者・整備管理者による法令遵守した安全管理業務及び、安全管理者・安全衛生管理者・産業医による安全衛生管理業務を実施しました。 (2) 社員(乗務員)へ充実した安全教育をするために新人教育マニュアルの見直しを図り、新たに新人研修(乗務)カリキュラムによる運転教育・業務教育指導表を整備しました。 (3) 指導長は、安全指導員を中心に巡回指導及びSD添乗指導を行い、交通・労働災害の安全意識向上と未然に事故防止を図るため安全教育を実施しました。 (4) 定期的な洗車を実施し、車両美化の取組みを推進しました。 II. 2025年度その他取組み事項 (1) 管下営業所や事業所においての安全会議の実施(月1回以上) (2) 社員50名以上の拠点における安全衛生会議の実施(月1回) (3) 主管支店長、労働組合委員長が参加しての安全指導員会議(基本的には月1回) (4) 事故が発生した際の事故速報の全店配信による情報の共有化と類似事故防止の注意喚起の実施及び事故惹起者への直接面接指導。 (5) Neco-Assi運行管理システム導入により、毎日の運転をデータで見える化「ヒヤリ」「ハット」情報を活用し、運転終了後には安全教育を実施し運転記録証明書取得による適切指導。 (6) 事故対策機構で受診する適性診断の分析結果による要重点指導ドライバーの抽出及び添乗指導の実施。 (7) 安全パトロールの実施により安全運転違反者の抽出及び違反者に対する面接指導の実施。 (8) 犯罪の起きにくい社会づくりを実現するため協定を締結、沖縄県警察本部 生活安全部と弊社所管の本社や営業所等を管轄する警察署へ「子ども110番の家」に委嘱され、子供の見守り活動に努める。 III. 2026年度重点施策実施 (1) 安全を確保するための施策 1 安全衛生管理の役割を明確にし、安心して働ける環境を整える。 2 交通安全運動や地域社会への貢献活動を通じ、プロ意識を高める。 3 社員・パートナーとの対話を通じて、相互理解を促進しコンプライアンスに基づいた実効性のある教育を継続する。 (2) 重点(具体的)取組事項 1【管理体制の強化】 安全衛生管理業務を支援するツールや仕組みの活用を通じて、運行・整備管理者や安全・衛生管理者が社員と向き合うことのできる環境を整え、安全管理の質を向上させる。 2【教育】ドレコ映像による予知能力強化 ヒヤリハット映像を全社員で分析・共有し、実際の危険を疑似体験することで予測運転と危険回避力を高める。 3【防災】沖縄の特性に合わせた減災対策 激甚災害を想定した自主訓練と備蓄配備を徹底し、社員の生命を守るとともに、災害発生時には地域復興を支える体制を整備する。 4【規律】管理者の専門教育と法令遵守 運行・整備管理者への教育を強化。形骸化させない適正な点呼と日常点検を実施し、組織全体のコンプライアンス意識を底上げする。 5【環境】作業動線の完全分離 フォークリフトと歩行者の動線を物理的に分離し、立ち入り制限区域を明示することで、安全領域を確保する。 6【信頼】Gマーク認定の推進 安全性評価制度(Gマーク)の維持・普及を通じ、外部基準による客観的な安全性を証明する。 7【土台】社員主導の5S運動 「整理・整頓・清掃・清潔・躰」を徹底し、リスクアセスメントを通じて社員全員が安心して働ける職場環境を構築する。 8【文化】啓発活動と地域貢献 各種取り組みや「こども安全教室」を通じて、繁忙期でも途切れない高い安全意識を維持し、地域社会と共に安全文化を育む。																																										
6	輸送の安全に関する全社共通の計画と実績	I. 2025年度全社共通運動の実績 (1) 運行管理システム(Neco-Assi)を活用し、管下店の管理者へ日々の運転アラート動画データを情報伝達し適切な指導を実施する。 (2) フォークリフト作業範囲と歩行者用通路をフェンス設置(固定設置可能店)する事で作業導線を明確に分離し、施設内の危険箇所の修繕を実施する。 (3) 全社員に交通・労災事故を防止するため安全対策会議等を通して、「ヒヤリ」「ハット」分析を活かし効果的な安全教育を実施する。 (4) 社員が安心して働ける職場環境を整備するため、建屋責任者は、安全指導員を中心とした5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)運動に積極的参加し、効果的な助言・指導監督を実施する。 (5) 運行管理システム(Neco-Assi)を活用し、管下店の管理者へ日々の運転アラート動画データを情報伝達し適切な指導を実施する。 (6) Gマーク制度(貨物自動車運送事業安全性評価制度)の普及促進をする。 (7) 「交通事故ゼロ運動」、「全国安全大会」、「労働災害防止運動」、「こども安全教室」を実施する。 (8) 各種事故防止キャンペーン及び「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施する。 II. 2026年度全社共通運動計画 (1) 4月 交通事故防止を目的とした「第42期 春の交通事故ゼロ運動」を実施します。 (2) 6月 環境にやさしい安全運行(バス停乗配)による省エネ運転(エコドライブ研修)を取組み実施します。 (3) 7月 労災事故防止を目的とした「第42期 安全週間」を実施します。 (4) 9月 交通事故防止を目的とした「42期 秋の交通事故ゼロ運動」を実施します。 (5) 10月 ヤマトグループ「全国安全大会」を開催予定。 (5) 12月 年末年始繁忙期計画で、交通事故、労災事故防止を目的とした取組みを実施します。																																										
7	輸送の安全に関する予算・実績額	I. 2025年度実績 (1)運転記録証明書の取得費用 1,145名 (約92万円) (2)安全祈願祭費用 (約22万円) (3)5トン限定準中型免許取得費用 11名 (約128万円) (4)各種資格取得バックアップ費用 250名 (約80万円) (5)永年無事故運転者表彰報奨金額 2年(35名)・5年(25名)・8年(9名)・18年(2名)の71名(約205万円) II. 2026年度予算計画 (1)運転記録証明書の取得費用 (約100万円) (2)安全祈願祭費用 (約22万円) (3)5トン限定準中型免許取得費用 20名 (約200万円) (4)各種資格取得バックアップ費用 250名 (約80万円) (5)永年無事故運転者表彰報奨金額 (約300万円)																																										
8	事故・災害等に関する報告連絡体制	安全管理規程により、報告連絡体制を構築しております。																																										
9	安全管理規程・安全統括管理者	I. 安全管理規程 2025年5月1日改定 II. 安全統括管理者 取締役 稲森 浩司																																										
10	輸送の安全に関する教育及び研修の計画・実績	I. 2025年度研修実績 (1)雇用の際の入社時基礎研修 (2)40日間の新人SD教育カリキュラムによる教育 (3)運転適性診断の受診(初任診断、一般診断等) (4)こども交通安全教室の実施及び参加 (5)運転者の研修(添乗指導・適性診断結果に基づくカウンセリング) II. 2026年度研修計画 (1)雇用の際の入社時基礎研修(運転者安全手帳の社員行動指針など業務に関しての運転心得を明示)する。 (2)40日間の新人SD教育カリキュラムによる教育 (3)運転適性診断の受信(初任診断、一般診断等) (4)こども交通安全教室の実施及び参加 (5)運転者の研修(添乗指導・適性診断結果に基づくカウンセリング)																																										
11	輸送の安全に係る内部監査結果並びにそれを踏まえた措置内容	I. 2025年度監査実績 (1)年1回のヤマトホールディングスの監査を2025年10月6日～2025年10月17日まで開催。 (2)各店所および事業所に対して2025年4月～2026年3月に内部監査を実施しています。 II. 2026年度監査計画 (1)年1回のヤマトホールディングスの監査を年度内に実施します。 (2)各店所に対して2026年4月～2027年3月に内部監査を実施します。 (3)上記の監査結果を踏まえ改善を実施します。																																										
12	輸送の安全に係る情報の公表	輸送の安全に係る情報の公表はありません。																																										